

## 「飲酒防止教室実施者用テキスト」の使い方

### 1. 本テキストの目的

- ・飲酒によるからだへの影響やリスクを伝えることで、子どもたち自身にアルコールに関する基礎知識を知ってもらおう。
- ・実際にお酒に誘われた際の断り方を学んでもらうため、子どもたち自身にロールプレイをしてもらったり、自分なりの断り方を考えてもらおう。
- ・依存症の話や体験談を通してアルコール依存症という病気について学んでもらう。

### 2. 対象

20歳未満の児童・生徒

### 3. テキストの構成

本テキストは、以下の3編から構成されています。

	ねらい	時間
I 講義編	講義を通して飲酒の基礎的な知識、20歳未満の飲酒の危険性等を学ぶ。	30分
II O×クイズ編	飲酒に関するO×クイズを通して基礎的な知識を学ぶ。	30分
III ロールプレイ編	飲酒を誘われたときの断り方について学ぶ。 I・IIと組み合わせ、前半・後半に分けて使用する。	前半・後半 あわせて30分

### 4. テキストの使い方例

- ・対象の年齢や理解の程度に合わせて使用するテキストを選んでください。
- ・「講義編」と「O×クイズ編」は、内容が重なるところも多いので、対象に合わせてどちらかを選択してください。
- ・「ロールプレイ編」は、「講義編」や「O×クイズ編」の中で出た知識を前提として作成されているので、必ず「O×クイズ編」か「講義編」とセットで行ってください。

〈パターン例〉

1	I 講義編のみ		
2	II O×クイズ編のみ		
3	III ロールプレイ編【前半】	I 講義編	III ロールプレイ編【後半】
4	III ロールプレイ編【前半】	II O×クイズ編	III ロールプレイ編【後半】

○テキスト中のマークについて

- ☆マーク…スライドのねらいや伝えるべきポイント
- ★マーク…追加情報（伝えるための例や豆知識など）
- ※マーク…実施する上での留意点など

## 5. 飲酒防止教室を実施する上での留意点・工夫

- 講義だけでなく、当事者の体験談を加えることで、飲酒の危険や依存症について、より身近に学ぶことができるとともに、依存症は回復する病気だという大切なメッセージを伝えることができます。当事者の体験談から学ぶことは多く、講義とセットにすることで、より深い理解が得られます。

下記窓口より体験談の講師について依頼ができますので、ぜひご活用ください。

「学校で飲酒防止教室の実施にあたり体験談を頼みたい」とお伝えください。

### 大阪府断酒会事務局

TEL：072-949-1229

FAX：072-933-1220

mail：fudanshu@kawachi.zaq.ne.jp

- アルコールパッチテスト（※）を同時に行うことで、子どもが自分自身のアルコールに対する体質について知ることができます。ただし、その時「お酒に強いから大丈夫」とならないように気を付けてください。飲酒のリスクはすべての人にあります。特にお酒に弱い人は急性アルコール中毒の危険性が、お酒に強い人はアルコール依存症になる可能性が高くなることをしっかり伝えてください。
- 飲酒防止教室の対象となる子どもの中には、すでにお酒を飲んだことがある子どもがいるかもしれません。そういった子どもは身近な大人からお酒を勧められていたり、友だちに誘われて飲んでいる可能性もあります。飲んでいることを責めるのではなく、飲酒防止教室後に話をする時間をとるなど、まずはじっくり話を聞いてください。
- もしかしたら、家族の飲酒の問題で苦しんでいる子どもがいるかもしれません。もし、子どもから相談があったら、まずは話を聞いて、相談機関（保健所など）に丁寧につないでください。

※アルコールパッチテストとは、アルコールに対する体質を判定するためのものです。アルコールを皮膚にあてたときの皮膚の反応を見ることで、アルコールに強い体質か弱い体質かを調べることができます。

### 【問合せ先】

大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課

〒558-0056 大阪市住吉区万代東3-1-46

☎ 06-6691-2818

[kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp)